

# 鼓童文化財団

## 2003年度 年次報告書



「アース・ファニチャー」活動の一環、小木町深浦小中学生に森との共生についての特別授業

### はじめに

皆さま、お変わりございませんでしょうか。

2003年という年は、中東での国と国、人と人との争いの心痛む年でした。日本からの派兵問題など、今更のように平和と不戦の貴重さを実感し、これからもそれを胸にとめ、なお一層の太鼓を通した国際交流、理解に努めてまいりたいと思います。

設立6年目を迎えた鼓童文化財団にとってこの年は、本拠地佐渡の文化活動への協力に実りを得た年でもありました。

地域環境への問題意識の高まりから、佐渡の地場産の間伐材の現状の認識を広め、その解決策の一つとして、地産地消の「佐渡の森の恵みで造る学校家具」の活動を、去年のECのフォーラムから引き続き行ってまいりました。

また特筆すべきことは、たらい舟の技術の記録を収集し、まとめる支援ができたことです。更にこれを鼓童叢書第1巻「佐渡のたらい舟～職人の技法」として出版し、財団の出版事業のスタートを切ることができました。

また、財団評議員の永六輔氏による、佐渡を元気づけ応援する講演会「ここが地球の真ん中です」を、島内6ヶ所で開催、協力しました。

これらの、地元佐渡に対する文化活動への協力のみならず、すべての面でお手伝いできるテーマを更に見出し、今後の活動に加えていきたいと願っております。

昨年末の財団理事会に於いて、理事長山口幹文の辞意表明を受けて、副理事長島崎信が選出、指名されました。2004年度からは、理事長島崎信、副理事長山口幹文の新体制になります。今後とも皆さまの暖かいご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

2004年3月

財団法人 鼓童文化財団 理事長 島崎信

## 2003年度 実施事業

(2003年1月1日～2003年12月31日)

文章中、特に明記のないものは佐渡島内の活動です。

### 1、ワークショップ、講演、シンポジウムなどの開催

太鼓は芸術的な表現媒体である前に、人と人、人と地域を結ぶコミュニケーションの手段であると私たちは考えます。鼓童文化財団では太鼓を使ったワークショップなどを積極的に開催し、演奏における技術指導よりも個々人の可能性をいかに引き出すかに重点をおいた実践研究を行なって、地域に根ざした社会活動の一環として取り組んでいきたいと思えます。

#### 北米ワークショップツアー

2/15～3/17の1ヶ月に渡って行われた、米国で設立した非営利団体である鼓童アーツ・スフィア・アメリカ(KASA)の事業、齊藤栄一・宮崎正美のワークショップツアーに協力しました。モントリオール・トロント・スタンフォード・ロングアイランド・ラレイ・オースティン・フェニックス・モーガンヒル・マウイ・ビッグアイランド・ホノルルの11ヶ所の太鼓グループを訪ね、特にモーガンヒルでは毎年佐渡で行われる「鼓童塾」をモデルに「2003 KASA Cultural Workout」と名付けた初の4日間の合宿ワークショップが開催され、ご好評いただきました。

#### 第4回北米太鼓会議に参加

8/1～3に開催されたアメリカ・カリフォルニア州サクラメントで行われた第4回北米太鼓会議。北米各地から集まった600人の太鼓好きな人々の中に、鼓童から菅野敦司、齊藤栄一、秋元淳、ダニエル・ローゼン、千田倫子が参加しました。  
齊藤栄一 太鼓ワークショップ  
菅野敦司 パネルディスカッション「太鼓界の行く先は」  
千田倫子 レクチャー「鼓童の演目のふるさと」

#### KASA/MIXツアー

アメリカの太鼓グループRythMixとKASAの共催による、日本の音楽文化を知る「KASA/MIXツアー」に協力。そのうちの佐渡での4泊5日、小島千絵子・藤本容子・齊藤栄一が鼓童研修所にてワークショップを行いました。アメリカ、カナダから24名の参加があり、自然の中で太鼓・踊り・唄や地元の鬼太鼓の稽古見学、研修生との交流などの体験を楽しんでいただきました。

#### 太鼓体験塾

佐渡島内10市町村で、初心者の方に太鼓の楽しさを知ってもらう2時間のプログラム。講師には鼓童メンバーの十河伸一・根岸俊昭・石原泰彦・宮崎正美があたり、研修生がアシスタントとして参加。のべ200名の方と交流しました。



KASA：北米ワークショップツアー



鼓童村稽古場にて、太鼓体験塾



鼓童塾：金子竜太郎の太鼓編



永六輔氏講演会「ここが地球の真ん中です」

- 5/18 アミューズメント佐渡(佐和田)
- 5/24 畑野小学校体育館
- 5/31 小木町あゆみ会館・羽茂町B&G体育館
- 6/1 新穂村武道館
- 6/7 金井町民会館・相川金泉小学校体育館
- 6/15 小木町 鼓童村稽古場(真野町主催)
- 6/21 赤泊村民体育館・両津市民会館

#### 鼓童塾

佐渡の豊かな自然の中で、鼓童のメンバーを核に、様々な人が集い、学び教え合う合宿ワークショップ。今年は、金子竜太郎の太鼓篇を新たに開催しました。

「藤本容子のヴォイス・サークル篇」

6/18～22 小木町鼓童村稽古場

「齊藤栄一の太鼓篇」

9/19～23 両津市柿野浦・鼓童文化財団研修所

「金子竜太郎の太鼓篇」10/9～13 小木町鼓童村稽古場

#### 研修生と佐渡の中学生との交流公演

10/15 羽茂町立羽茂小学校、11/7 金井町立金井中学校にて鼓童文化財団研修生と佐渡の学生との交流をはかる公演(演奏披露と太鼓体験)を行いました。また今年も研修所近くの畑野町立松ヶ崎中学校の生徒さんと、太鼓や音楽に留まらない学校活動に参加するなど交流を続けています。

#### 地域の小中学生への授業及び教育機関との連携

菅野敦司 小木町深浦小学校5、6年生対象に国際理解教育の授業 3月

山口康子 島内の中学生にフルートを指導(下越吹奏楽連盟主催)6月

大井良明 小木町深浦小中学生の太鼓グループ「岬太鼓」の指導 通年/宮城教育大学付属中学生に太鼓にまつわる講義 7月/佐渡養護学校生徒の太鼓体験 6月・10月

藤本容子 小木小学校3年生に唄の指導 9月

石原泰彦 佐渡教職員対象の太鼓ワークショップ 9月/両津市立両津小学校2、3年生と父兄対象太鼓ワークショップ 10月/両津市公立保育園児対象太鼓ワークショップ 11月

島崎信(当時・財団副理事長) 小木町深浦小中学生対象に、「アース・ファニチャー」活動の一環、森との共生についての特別授業 6月

#### その他、ワークショップ

大井良明 佐渡を訪れた修学旅行・体験学習者対象の太鼓ワークショップ(新津市立市之瀬小学校/新井市立姫川原小学校/長岡市立豊田小学校/上越市地域広域行政組合主催、親子体験塾)

石原泰彦 同上、ワークショップ(上越市立飯小学校)

金子竜太郎 新潟の「万代太鼓」に太鼓指導 10月

齊藤栄一 東京・代々木にて開催の「東京国際和太鼓コンテスト&和太鼓カレッジ」(主催:財団法人浅野太鼓文化研究所/東京新聞)の太鼓ワークショップ講師 10月

#### 講演など

砂畑好江 新穂町立新穂中学校「立志式」1月

藤本容子

羽茂町社会教育学級「心うき歌とリズム」1月

佐和田町保育士総会「太陽のうた星のうた」3月

山口幹文 新潟大学講座「新潟の音を聴く」6月

#### 佐渡を応援する講演会シリーズ発足

鼓童文化財団の評議員でもある永六輔氏が、島民と共に考え佐渡を応援する講演会シリーズ「ここが地球の真ん中です」を提案していただき、鼓童文化財団が佐渡島内の主催者を募り、スケジュールの調整や運営のお手伝いをしました。

両津市内3ヶ所 6月

相川町内2ヶ所 10月

#### 2. 伝統文化の再創造に関する研修および実践(研修所)

鼓童文化財団に所属する研修所では、広く内外から研修生を募集し、豊かな自然と芸能の宝庫である佐渡において、体験的学習を通して次代に伝えるべき<新しい伝統>の創造を目指します。研修制度は2年制で、1年目は伝統文化の基礎を研修する総合課程、2年目は鼓童の活動を通じて実践的な力を養う専門課程となります。

両津市柿野浦の旧・中学校校舎で1、2年合わせて17名が、日々太鼓や唄や踊り、農作業などと向き合い、生活を共にしてきました。2004年1月をもって1年10ヶ月の研修を修了した21期生は赤名卓大、ジョン内倉、加藤正佳、知名卓也、中島智征、林秀樹、喜内美和、坂野真理の8名。それぞれの新たな目標に向かって巣立ち、そのうち3名が準メンバーとして鼓童に残りました。研修所については、鼓童機関誌12月号に特集を組んでいます。



研修生、「佐渡囃子会」に地謡で参加 (3/9)

### 3、アクション・ライブラリーの運営

鼓童の国内外での活動記録をはじめ、佐渡で開催している国際芸術祭「アース・セレブレーション」の足跡、および伝統文化についての調査研究・資料収集の成果を、広く国内外の方々に利用していただくための図書館を将来的に運営したいと計画しています。これは関連図書・音響映像・収集資料を展示紹介してだけでなく、一般の方々がより親しみやすく相談し参加体験できる形を模索したアクション・ライブラリーとして「行動する図書館」を目指すもので、インターネットなどを通じて情報を公開していきたいと思えます。

鼓童の書籍・ビデオの整理で、約9,500冊についての整理が完了しました。引き続き、新規購入・寄贈書籍への対応をすすめています。

鼓童ホームページ（日本語・英語）は月に1度ほど更新をしています。月平均約5,000件のアクセスがありました。

### 4、国際芸術祭「アース・セレブレーション（EC）」の実施

鼓童が地元の市町村とともに実行委員会を組織し、'88年より毎年開催している国際芸術祭を、今後ともその質的向上を目指して実施していきます。この芸術祭では、世界各地の民族音楽・芸能の専門家や研究者を招き、佐渡の自然の中で新しい「地球文化」の可能性を探るとともに、各地の伝統文化の紹介を通じてその振興をはかっています。海外からの参加者を積極的に働きかけて国際交流を促進し、次の世代への芸術的な基盤形成につとめます。

8月22日～24日の期間に行われた16回目の本芸術祭では、城山コンサートのメインゲストに西アフリカのブルキナファソからパーカッションとダンスのクリバリー・ファミリーを迎え、のべ7,000人の方が佐渡小木町に集いました。2002年の佐渡の森を考えるフォーラムから発足した「アース・ファニチャー」は、本年、試作品を展示発表しました。アース・セレブレーションの詳細は、鼓童機関誌10月号に掲載しています。

#### 主な出演者

城山コンサート

鼓童、クリバリー・ファミリー（ブルキナファソ）

ワークショップ等

- ・渡辺亮「サンバで遊ぼう」
- ・クリバリー・ファミリー「アフリカン・リズム」
- ・エド・コリアー「フラ・ワークショップ」
- ・蘭情「蘭情さんの笛工房」
- ・春日鬼組の皆さん「春日鬼太鼓」
- ・小木町の皆さん「小木おけさ」
- ・齊藤栄一「和太鼓」、金子竜太郎「和太鼓」、小島千絵子「鼓童で踊ろう」、大井良明・千田倫子「太鼓夜咄」

#### 対談

・関原剛、島崎信「アース・ファニチャー～佐渡の森の恵みで造る学校家具」

#### 展示

- ・真砂秀朗「絵と音」展
- ・ジョニ・ウェルズ&ダニエル・ローゼン「水と土」展



EC城山コンサート：クリバリー・ファミリーと鼓童



ECワークショップ：春日鬼太鼓の門付け



ECワークショップ：「蘭情さんの笛工房」



EC展示：「アース・ファニチャー」

## 5. 伝統文化に関する調査研究および資料収集

人類が長い年月を経てかたちづくり、伝えてきた世界各地の様々な伝統文化（特に民族音楽・芸能・工芸）とりわけ佐渡を中心とした調査研究を行なうと同時に、その資料収集を積極的に進めます。

4月、静岡県南伊豆郡の弓ヶ浜地区に鼓童メンバー12人を派遣。鼓童の舞台演目のもとでもある湊の祭りの太鼓調査研究、出稽古の支援をしました。

### アース・ファニチャー～佐渡の森の恵みで造る学校家具

この企画は昨年のECフォーラム「佐渡の森は蘇るか」に端を発したもので、地場産の杉の間伐材を素材にした家具の開発を通じて、地域循環型の新しい家具デザインを創り出し、また同時に小中学校などを対象にした新しい循環教育・総合学習での教材とプログラムの提案を行うものです。

今年は、佐渡の家具職人の西須殉治氏と大工棟梁の藤田文雄氏による学習机と椅子の試作品を公開展示し、またデザイナーである関原剛氏と島崎信（当時、当財団副理事長）がこの企画についての対談を行いました。

昨年に引き続き、相川町の文弥節太夫、梶原宗楽氏の演奏を洲崎拓郎と根岸俊昭が録音にうかがっています。また千田倫子が今後の資料公開の目的で、佐渡の祭りの映像記録を収集しています。

## 6. 伝統文化研究者・文化活動制作者への支援

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能の修得と、現代的な再創造を試みる集団「鼓童」。その鼓童に所属する研究者の調査・稽古・創作活動に対して支援を行なっています。また、文化活動の現場を支える制作者の受け入れや、関連団体への派遣なども行ない、国内外での文化交流を推進します。

鼓童メンバー、田中文太郎の絵画の個展を支援しました。

田中文太郎絵画展：2/1～2/28 相川町下戸郵便局

鼓童メンバー、藤本容子の「俳優修行」ワークショップ（講師：桃山晴衣氏）参加を支援。 8月

横浜に拠点を置き、太鼓の演奏をしながら学ぶ旅（平和キャラバン）を続ける「のむぎアカデミー」の中等部の体験学習を、昨年度に引き続き6月に受け入れました。

## 7. 年次報告書および関連図書の刊行

鼓童文化財団では、1年間の活動を報告し、事業や財団施設の利用情報を提供する年次報告書を発行します。また、研究・創造活動の成果を発表する出版物も随時発行します。

### 鼓童叢書発刊

鼓童叢書は、私達が佐渡をベースに活動する中で出会った事柄をテーマに刊行してまいります。未来に携えていくべき思想、知恵、技術などを身の丈サイズで考え、現代に提案し

てゆくものにしたいと考えています。

### ・第一巻「佐渡のたらい舟～職人の技法」

最後の本格的たらい舟職人と言える羽茂町の故・藤井孝一氏に弟子入りしたアメリカの和船研究家、ダグラス・ブルックス氏が受け継いだ技術の記録。

この本は日本財団の助成金を受けて作成しました。500部を国内外の研究者、博物館等に寄贈。



鼓童叢書「佐渡のたらい舟～職人の技法」

年次報告書を4月に発行し、鼓童の会の会員の方、鼓童文化財団に寄付を寄せてくださった方々にお届けしました。

## 8. 鼓童の会の運営

鼓童文化財団は鼓童の活動に社会的な価値を見出し、共感する個人によって支援される「鼓童の会」を運営します。毎月発行される機関誌を送付して活動への参加を呼びかけ、今後の事業に対する希望を募ります。

鼓童の会会員の方々をはじめ各関係者に機関誌（月刊「鼓童」を年11回、あるいは英文季刊誌「Kodo Beat」を年4回）お送りしています。

鼓童の会が、5月の佐和田での鼓童公演に合わせて『まると鼓童』ツアーを企画。十六名のご参加をいただき、公演、ワークショップ、島内の鼓童施設見学、観光など楽しんでいただきました。

9、その他

2003年11月の財団理事会において、新理事長に、副理事長島崎信が選出、指名されました。2004年1月より理事長島崎信、副理事長山口幹文の体制になることが決定しました。また、評議員の永井淳夫氏、細川一氏の辞意を受け、同理事会にて退任が承認されました。

2001年に行っていた「三宅島募金」を再開し、機関誌上や公演会場などで5月より協力を呼びかけました。いただいた募金総額132,168円は「三宅島災害・東京ボランティア支援センター」に寄付させていただきました。



鼓童の会企画ツアー：公演終了後にメンバーと記念写真

2003年度 決算

収支計算書 2003年1月1日から12月31日まで

(単位：円)

収入の部		支出の部	
基本財産運用収入	998	事業費	アース・セレブレーション事業費 3,150,000
入会金収入	337,000		太鼓体験塾事業費 850,000
会費収入	7,051,000		鼓童塾事業費 3,950,592
法人会費収入	100,000		研修所事業費 13,195,880
事業収入	アース・セレブレーション事業収入 3,150,000		鼓童の会事業費 2,462,392
	太鼓体験塾収入 1,000,000		図書出版事業費 4,575,809
	鼓童塾収入 3,420,000		その他の事業費 5,718,756
	研修所研修費収入 10,540,000	管理費	給与 2,122,219
	その他の事業収入 2,874,438		会議費 387,901
補助金等収入	2,821,000		その他の管理費 1,942,980
寄付金収入	2,819,570	固定資産取得支出	379,932
雑収入	1,508,760	予備費	0
当期収入合計 (A)	35,622,766	当期支出合計 (C)	38,736,461
前期繰越収支差額	5,732,658	当期収支差額 (A)-(C)	-3,113,695
収入合計 (B)	41,355,424	次期繰越収支差額 (B)-(C)	2,618,963

貸借対照表 2003年12月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債および正味財産の部	
流動資産	現金 158,892	流動負債	未払金 350,505
	預金 2,696,535		預り金 14,443
	未収金 525,455		
	仮払金 328,680	正味財産	109,023,094
	立替金 70,180		(うち基本金 100,211,931)
	その他 4,580,716		(当期正味財産増加額 1,411,790)
固定資産	基本財産 99,855,431		
	固定資産(什器備品・車両) 1,172,153		
資産合計	109,388,042	負債および正味財産合計	109,388,042

## 2004年度 事業計画

### 1. ワークショップ、講演、セミナーなどの開催

- (1) 太鼓体験塾
- (2) 鼓童塾 齊藤栄一の太鼓ワークショップ ... 1回
- (3) 研修生と佐渡の中学生との交流公演 ... 3回
- (4) 地域の学校への出前授業および交流
- (5) 北米ワークショップツアー(金子竜太郎)
- (6) 森林ワークショップ
- (7) 永六輔、佐渡島内講演会

### 2. 伝統文化の再創造に関する研修および実践(研修所)

- (1) 総合課程: 芸能の基本を学ぶ  
4月~翌3月 約10名
- (2) 専門課程: 舞台芸術関係の専門分野を学ぶ  
4月~翌1月 約10名

### 3. アクション・ライブラリーの運営

- (1) 民俗芸能関係の収集資料の整理
- (2) 図書・映像資料の整理
- (3) 図書管理システムの運用
- (4) インターネット・ホームページの運営
- (5) 研修所講義録の編纂

### 4. 国際芸術祭「アース・セレブレーション」の共催

開催時期を8月とし、小木地区を中心にコンサート、ワークショップ、講演やフリンジなどの事業を行うほか、佐渡の自然・経済環境を考えるセミナーの開催をする。

### 5. 伝統文化に関する調査研究および資料収集

- (1) 鼓童舞台演目の現地調査研究
- (2) 鬼太鼓調査研究
- (3) 佐渡の木材による学習机試作品づくり
- (4) 佐渡の伝統工芸技能者調査

### 6. 伝統文化研究者・文化活動制作者への支援

- (1) 伝統文化研究者支援(鼓童舞台演目の出稽古等)
- (2) 伝統技術継承者の支援(文弥節記録等)

### 7. 年次報告書および関連図書の刊行

- (1) 年次報告書の発行
- (2) 鼓童叢書第2巻刊行準備

### 8. 鼓童の会の運営

月刊機関誌「鼓童」、季刊英字機関誌「Kodo Beat」の発送、名簿の管理、会員募集

### 9. その他

広報活動、ファンドレイジング活動、三宅島募金活動

## 財団法人 鼓童文化財団 役員・評議員 (2004年1月1日現在、50音順)

理事長	島崎 信	武蔵野美術大学名誉教授
副理事長	山口幹文	鼓童演出顧問
常務理事	青木孝夫	鼓童事務局代表
理事	浅野昭利	財団法人浅野太鼓文化研究所理事長
	中川忠夫	佐渡・小木町町長
	森 千二	音楽プロデューサー
監事	荒井久夫	税理士
	日下徹舜	佐渡・羽茂町弘仁寺住職
評議員	伊藤文吉	財団法人北方文化博物館館長
	永 六輔	作家
	トマス・エルドス	アビニョンフェスティバルならびにパリ市立劇場芸術顧問
	ジョージ・健・高知	アジア文化会議日本事務局代表
	佐々木 愛	劇団文化座代表、女優
	等々力好泰	新潟トヨタ自動車株式会社社長
	富田 勲	作曲家
	姫田忠義	民族文化映像研究所所長
	クリストファー・遙盟・プレイズデル	尺八演奏家、国際文化会館芸術プログラムアドバイザー
	ロビン・ペリントン	元駐日アメリカ大使館 文化参事官
	本間寅雄	財団法人佐渡博物館 前館長
	本間雅彦	佐渡・畑野町史編纂委員長
	武者利光	東京工業大学名誉教授、ゆらぎ研究所、脳機能研究所所長

## 2003年度 寄付者一覧

2003年1月1日から12月31日までに寄付をくださった方は以下の通りです。(敬称略。1口1,000円)

- 1000口 新潟県民エフエム放送株式会社
- 100口 (有) オフセンター
- 50口 (株) マカンボ建築設計事務所
- 30口 キハラ株式会社、荒井久夫
- 20口 (財) 浅野太鼓文化研究所、佐藤惇、筒井祖晋
- 13口 福島勇人
- 10口 幸田国際特許事務所、(有) グレートクー、東幸太郎、井口益男、伊藤文吉、岩本光世、上田美代子、大橋百合子、岡村満、加藤正子、北見治、倉田浩二郎、小柴誠一、児玉弘次、品川宮千恵、杉浦孝昭、平博、谷口正厚、中村光子、春本博章、松本光示、山本活子、山本純江、宮川貞子、宮本光

年次報告書への名前掲載を希望しない方の寄付金額、および10口以下の方の寄付金額の小計 1,386,570円  
上記の寄付総合計 2,919,570円

2003年度法人会員  
(有) オフセンター

たくさんのご支援をありがとうございました。



2003年度研修生

## 財団へのご支援をお願いいたします。

財団法人 鼓童文化財団は、趣旨に賛同くださる皆様のご支援により活動を進めております。

### [ 寄付 ]

寄付は1口1,000円単位で随時受け付け、毎年4月に発行する年次報告書をお送りします。年に10口以上お申し込みいただいた方には、年次報告書にご希望によりお名前と金額を掲載させていただきます。

ご送金は郵便局備え付けの郵便振替用紙に、お名前、ご住所をお書き添えの上、「00690-9-25829(財)鼓童文化財団」宛にお願いします。鼓童の会にすでにお入りの方は会員番号を、また年次報告書に名前と金額の掲載を希望しない場合は、その旨を通信欄にご記入下さい。

団体名と個人名を併記されている場合は個人名での掲載とさせていただきます。また、財団への寄付は鼓童の会の会費とは異なりますのでご確認ください。

あわせて「三宅島募金」にもご協力いただければ幸いです。「00580-5-68315(財)鼓童文化財団 三宅島募金」宛にお願いします。金額はおいくらでも結構です。また「通信欄」に三宅島民の方々にあてたメッセージをぜひお寄せください。

### [ 後援会と、法人会員制度 ]

鼓童というグループは、公演活動を運営する(株)北前船と、楽器などの開発販売や著作権管理を行う(有)音大工、そして(財)鼓童文化財団という3つの法人で構成されています。研修所の運営や伝統文化の調査研究などを行う財団の事業は、鼓童の活動の根幹を担うものです。

鼓童文化財団は、皆様のご寄付と鼓童の会の会費で支えられております。鼓童の会には友の会・後援会・賛助会の3種類がありますが、財団活動を支援する気持ちを強くお持ちの方は「後援会」(年会費1万円)へご入会いただければ幸いです。すでに、友の会や賛助会にお入りの方の後援会への切り替えも随時受付いたしております。

また、法人会員制度(年会費10万円)も設けております。詳しくは下記事務局までお気軽にお尋ね下さい。

財団法人 鼓童文化財団 2003年度 年次報告書 2004年4月10日発行  
発行責任者...島崎信、編集...菅野敦司、千田倫子  
写真...(敬称略)吉田励、シギー吉田、宮川舞子、鼓童

財団法人 鼓童文化財団：  
〒952-0611 新潟県佐渡市金田新田148-1 鼓童村  
TEL.0259-81-4100 FAX.0259-86-3631  
E-mail. zaidan@kodo.or.jp  
http://www.kodo.or.jp